

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家庭的な雰囲気でも過ごしていただけるよう、生活の視点を大切にしたいケアを進めていく。	利用者各々の思いや気持ちを可能な限り尊重したケアに近づける。また、利用者家族も行事に参加いただけるよう工夫する。	日頃から利用者の意見や要望を聞き取り、各々の生活の記録に留意し、ケアに活かすようにする。 特に、日常の つぶやき 等日常の何げない言葉を大切に、スタッフ間で共有し、家族とも連携しながらケアに反映させる。	6ヶ月
2	23	利用者の思いや意向の把握に努めているが、今以上に詳細に把握することが必要。	利用者の思いや意向を今以上に詳細に把握する。	スタッフ間のコミュニケーションを密にし利用者の思いや意向等情報を共有する。	6ヶ月
3	30	治療を必要としない利用者の健康診断が行われていない。	家族とも連携を持ちながら、必要に応じ、定期受診及び往診を行い、利用者の健康管理体制を図る。	家族と連携を持ちながら、今まで以上に医療機関と連携を大切にする。	6ヶ月
4	33	重度化や終末期の在り方についての指針などが文章化されていない。	ターミナルケアの指針、同意書を作成する。	ターミナル指針、同意書の作成に取り組む。 ターミナルケアに関する学習会を通してスタッフの知識や意識を深める。	6ヶ月
5	49	普段の外出が少ない。今まで以上に行事の外出も増やしたい。	普段の外出を増やす。行事での外出機会を増やす。家族参加の外出機会を増やす。	利用者の意向の把握や、家族との調整、「に外出し しませんか」などの働きかけで意欲を引き出していく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。